



100m
4×100mR

Ipei TAKEDA

竹田 一平

中央大学(埼玉)

[草加中・埼玉→不動岡高・埼玉]

①13 Mar. 1997 ②173cm・71kg ③Saitama Pref. ④Chuo Univ. ⑤10.27 1.0 (2016) / 10.27 1.0

中大2年生となった今季、5月の水戸招待100mでジュニア歴代7位タイの10秒27、関東インカレ予選でも10秒28をマーク。6月にはアジアジュニア選手権で銀メダルを獲得、初出場の日本選手権で準決勝に進んだ。不動岡高時代の自己記録は10秒61、3年時の14年にはインターハイ100m、200m、日本ジュニア選手権100mに出場した。15年には日本ジュニア選手権100m準決勝で10秒52と自己記録を更新、決勝で3位に入った。

●主要競技会成績
アジアジュニア選手権 2016 100m:2位 / 4×100mR:予選2組DNS (2走)
日本ジュニア選手権 2015 100m:3位



100m
4×100mR

Kenta OSHIMA

大嶋 健太

日本大学(東京)

[中村中・東京→東京高・東京]

①03 Sep. 1997 ②173cm・66kg ③Tokyo Pref. ④Nihon Univ. ⑤10.29 -0.8 (2015) / 10.47 -0.3

東京高時代、2・3年時にインターハイ100mで史上6人目の連覇を達成、3年時の15年和歌山インターハイでは、高校歴代8位の10秒29をマーク。また、史上初めて100m・200mの2種目で共に3年連続入賞を果たした。国体でも1年時の少年B200m、2・3年時の少年A100mで通算3連覇を成し遂げている。2年時の14年には、ユース五輪100mで銀メダルを獲得。日大に入学した今季は、アジアジュニア選手権100mで4位に入った。

●主要競技会成績
ユースオリンピック 2014 100m:2位
アジアジュニア選手権 2016 100m:4位 / 4×100mR:予選2組DNS (4走)
日本ジュニア選手権 2014 100m:2位
日本ユース選手権 2013 100m:4位
全国高校総体 2015 100m:1位 / 200m:5位 / 4×100mR:1位(4走)
全国高校総体 2014 100m:1位 / 200m:6位 / 4×100mR:5位(4走)
全国高校総体 2013 100m:4位 / 200m:6位
全日本中学校選手権 2012 100m:3位 / 200m:3位 / 4×100mR:4位(4走)



200m
4×100mR

Jun YAMASHITA

山下 潤

筑波大学(福島)

[福島大学附属中・福島→福島高・福島]

①23 Aug. 1997 ②182cm・67kg ③Fukushima Pref. ④Univ. of Tsukuba ⑤20.91 -0.1 (2015) / 20.96 1.9

福島高2年時の14年、インターハイ200m 3位、ユース五輪200m 6位、日本ユース選手権100m 2位。3年時の7月には200mで20秒91の自己新をマーク。インターハイ100m 4位、200m 2位、国体少年A100m 3位、日本ジュニア選手権200m 2位と、安定した実績を残した。筑波大に進んだ今季、日本学生個人選手権の100m準決勝で10秒44の自己新、200m 2位。三段跳でも14m92の自己記録を持つ。父は同種目の日本記録保持者。

●主要競技会成績
ユースオリンピック 2014 200m:6位
日本ジュニア選手権 2015 200m:2位
日本ユース選手権 2014 100m:2位
全国高校総体 2015 100m:4位 / 200m:2位
全国高校総体 2014 200m:3位
全日本中学校選手権 2012 200m:6位



200m
4×100mR

Wataru INUZUKA

犬塚 渉

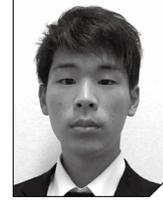
順天堂大学(静岡)

[江南中→天竜中・静岡→浜名高・静岡]

①08 Jul. 1997 ②183cm・61kg ③Shizuoka Pref. ④Juntendo Univ. ⑤20.87 -0.6 (2015) / 21.00 1.9

前年に続き、2大会連続のU20世界選手権代表入りを果たした。浜名高1年時の13年には、インターハイ4×400mRで3走を務めて優勝、国体少年B200mで2位。2年時には、ユース五輪アジア予選200mで3位に入った。3年時の5月に200mで20秒87の自己新、インターハイ200m 3位。国体少年A100mでは、準決勝で当時高校歴代5位タイの10秒28をマーク、決勝で2位。順大に進んだ今季は、アジアジュニア選手権200mで銅メダル。

●主要競技会成績
アジアジュニア選手権 2016 200m:3位 / 4×100mR:予選2組DNS (3走)
全国高校総体 2015 200m:3位 / 4×100mR:8位(3走)
全国高校総体 2013 4×400mR:1位(3走)



400m
4×400mR

Kazuki MATSUKIYO

松清 和希

福岡大学(大分)

[泉中・福岡→楊志館高・大分]

①14 Jul. 1997 ②175cm・60kg ③Oita Pref. ④Fukuoka Univ. ⑤46.74 (2016) / 46.74

今年5月の九州インカレ400mで、46秒74の自己新をマークして優勝。日本学生個人選手権では1年生最上位の3位に入った。中学時代は無名に近い存在だったが、楊志館高に進学したのちに急成長。1年時の13年に国体少年B200mに出場。2年時には400mでインターハイ出場、日本ユース選手権で5位と初の全国入賞を果たした。3年時は国体で3位入賞。10月には46秒81をマークして、15年の日本高校リスト1位。

●主要競技会成績
日本ユース選手権 2014 400m:5位



400m
4×400mR

Naoki KITADANI

北谷 直輝

神戸市立科学技術高校(兵庫)

[平木中・兵庫]

①12 Nov. 1998 ②181cm・67kg ③Hyogo Pref. ④Kobe Municipal H.S. of Science and Technology ⑤46.89 (2016) / 46.89

今年5月のインターハイ兵庫県大会400mで、46秒89の自己新をマーク。6月の近畿大会では、200mでも21秒36とスピードをつけた。中学3年時に400mで全日中に出場。高校2年時の15年にはインターハイに出場し、9月に初めて47秒台に入ると、10月には日本ユース選手権で6位入賞。その2週間後には、47秒45と自己記録を伸ばした。身長181cmの大型スプリンターで、今年6月には400mHでも53秒台で走っている。

●主要競技会成績
日本ユース選手権 2015 400m:6位



4×400mR

Mizuki OBUCHI

小淵 瑞樹

東海大学(群馬)

[桂堂中・群馬→勢多農林高・群馬]

①19 Feb. 1997 ②169cm・73kg ③Gunma Pref. ④Tokai Univ. ⑤400m:46.83 (2015) / 47.00

勢多農林高2年時に力をつけて、400mでインターハイ出場、日本ユース選手権で準決勝に進んだ。3年時の14年もインターハイ、日本ジュニア選手権、国体に出場。全国入賞はできなかったが、自己記録を47秒40まで伸ばした。東海大1年時の15年、日本インカレで46秒83の自己新をマーク、日本ジュニア選手権で3位。今季は静岡国際で47秒00など安定した記録を残し、関東インカレ8位、アジアジュニア選手権で金メダルを獲得した。

●主要競技会成績
アジアジュニア選手権 2016 400m:1位
日本ジュニア選手権 2015 400m:3位
日本学生対校選手権 2015 4×400mR:7位(4走)



1500m

Ryohei SAKAGUCHI

阪口 竜平

東海大学(京都)

[男山三中・京都→洛南高・京都]

①05 Apr. 1997 ②172cm・54kg ③Kyoto Pref. ④Tokai Univ. ⑤3.43.88 (2016) / 3.43.88

東海大に進学した今季は、1500m中心に出場。関東インカレで2位、6月の記録会ではジュニア歴代6位の3分43秒88をマーク、日本学生個人選手権でも2位に入った。中学3年時の12年、全日中3000mと都道府県駅伝に出場。洛南高でも着実に記録を伸ばしていき、3年時には5000mで14分16秒66、全国高校選抜10000mで5位入賞。全国高校駅伝と都道府県対抗駅伝では共に1区で区間5位と、大舞台での安定感が持ち味。



5000m

Hyuga ENDO

遠藤 日向

石川高校(福島)

(郡山四中・福島)

①05 Aug. 1998 ②170cm・56kg ③
Fukushima Pref. ④Ishikawa H.S. ⑤13.48.13
(2016) / 13.48.13

中学3年時の13年、全日中1500m 4位、3000m優勝。学法石川高では1年時の国体少年B3000m優勝、5000mで13分58秒93の高1最高を樹立した。2年時の7月に高2歴代2位の13分50秒51に縮め、世界ユース選手権3000m 5位、インターハイ5000mで日本人トップの3位、国体少年A5000m優勝。今季は5000mで高校歴代7位の13分48秒13、日本選手権1500m予選で高校歴代4位の3分45秒58をマーク、決勝で4位に入った。

●主要競技会成績

世界ユース選手権	2015	3000m: 5位
日本選手権	2016	1500m: 4位
全国高校総体	2015	5000m: 3位
全日本中学校選手権	2013	1500m: 4位 / 3000m: 1位



5000m

Hiroki ABE

阿部 弘輝

明治大学(福島)

(仁井田中・福島→学法石川高・福島)

①19 Nov. 1997 ②173cm・55kg ③
Fukushima Pref. ④Meiji Univ. ⑤13.57.15
(2015) / 14.05.70

学法石川高2年時に頭角を現し、11月の東北高校駅伝6区で区間賞。12月には5000mで14分12秒53と自己記録を伸ばし、全国高校駅伝6区4位と好走した。高校3年時には12月に13分57秒15の自己新をマーク。全国高校駅伝1区10位、都道府県対抗駅伝5区5位に入った。今季は5000mのU20世界選手権選考レースで2位、関東インカレでも5位に入賞した。1000mでも29分23秒29の自己新をマークし、勢いに乗っている。



10000m

Hayato SEKI

関 颯人

東海大学(長野)

(茅野東部中・長野→佐久長聖高・長野)

①11 Apr. 1997 ②177cm・56kg ③Nagano
Pref. ④Tokai Univ. ⑤28.48.63 (2016) /
28.48.63

佐久長聖高1年時の国体少年B3000m 8位、全国高校駅伝2区5位。2年時は夏以降に力をつけ、全国高校選抜10000m 3位、国体少年A5000m 8位、全国高校駅伝1区3位に入った。3年時も冬期から調子を上げ、11月に5000m13分51秒85をマーク、全国高校駅伝1区、都道府県対抗駅伝5区で区間賞を獲得した。今季は4月に10000mで28分48秒63の自己新、関東インカレ10000m11位、日本学生個人選手権5000m優勝と好調維持。



10000m

Shota ONIZUKA

鬼塚 翔太

東海大学(福岡)

(志佐中・佐賀→大牟田高・福岡)

①13 Sep. 1997 ②169cm・50kg ③Fukuoka
Pref. ④Tokai Univ. ⑤28.55.26 (2016) /
28.55.26

大牟田高で急成長を見せ、2年時の14年に5000mで当時高2歴代6位の13分58秒43をマーク、世界ジュニア選手権に出場して16位。インターハイ5000m 7位、全国高校選抜10000m 6位、国体少年A5000m 4位、都道府県対抗駅伝1区区間賞、世界クロスカントリー選手権出場と実績を積んだ。3年時には13分56秒47と自己記録を伸ばし、国体少年A5000m 3位。今季は4月に10000mで28分55秒26の自己新、関東インカレ10位。

●主要競技会成績

世界ジュニア選手権	2014	5000m: 16位
全国高校総体	2014	5000m: 7位



110mH

Takumu FURUYA

古谷 拓夢

早稲田大学(神奈川)

(南足柄中・神奈川→相洋高・神奈川)

①12 Mar. 1997 ②183cm・81kg ③
Kanagawa Pref. ④Waseda Univ. ⑤99.1cm :
13.67 0.0 (2014) / 106.7cm : 13.73 0.4

110mHでは高校記録13秒83をはじめ、高1最高の14秒50、高2最高の13秒92を保持。相洋高2年時の13年、400mYHで世界ユース選手権4位、インターハイ、国体、日本ユース選手権を制した。3年時には日本選手権110mHで6位、インターハイでは史上初めて、2年連続で110mH・400mHの2冠を獲得した。早大1年時の15年はアジア選手権出場、日本選手権2位。今季は日本選手権予選で13秒73のジュニア新、決勝で5位。

●主要競技会成績

世界ユース選手権	2013	400mYH: 4位
アジア選手権	2015	110mH: 学3第4着
アジアユース大会	2013	110mYH: 1位
日本選手権	2016	110mH: 5位
日本選手権	2015	110mH: 2位
日本選手権	2014	110mH: 6位
日本選手権リレー	2014	4×100mR: 7位(2走)
日本ジュニア選手権	2015	110mH: 1位
日本ジュニア選手権	2014	110mH: 1位
日本ユース選手権	2013	110mH: 1位 / 4×100mR: 6位(4走)
日本ユース選手権	2012	110mH: 4位
日本学生対校選手権	2015	110mH: 3位
全国高校総体	2014	110mH: 1位 / 4×100mR: 2位(4走) / 400mH: 1位 / 4×400mR: 4位(4走)
全国高校総体	2013	110mH: 1位 / 400mH: 1位 / 4×400mR: 2位(1走)
全日本中学校選手権	2011	110mYH: 4位



110mH

Pap Demba HIRAMATSU

平松パプデンバ

日本大学(東京)

(調布市立第四中・東京→芦花高・東京)

①15 Dec. 1997 ②187cm・76kg ③Tokyo
Pref. ④Nihon Univ. ⑤106.7cm : 13.94 1.2
(2016) / 106.7cm : 13.94 1.2

都芦花高2年時の14年に、110mHで14秒台に突入。6月には14秒52の自己新をマーク、インターハイと日本ジュニア選手権で準決勝に進んだ。3年時には、インターハイで14秒19と自己記録を伸ばして3位に躍進。秋の日本ジュニア選手権では、前年に続いて準決勝に進出した。日大に進んだ今季は好調を維持、5月の関東インカレで7位、6月の日本学生個人選手権ではジュニア歴代7位の13秒94をマークして5位に入った。

●主要競技会成績

全国高校総体	2015	110mH: 3位
--------	------	-----------



400mH
4×400mR

Yoshiro WATANABE

渡部 佳朗

城西大学(福島)

(塩川中・福島→喜多方桐桜高・福島)

①07 Jan. 1997 ②171cm・60kg ③
Fukushima Pref. ④Josai Univ. ⑤49.96
(2016) / 49.96 (Top5)

今年の関東インカレでジュニア歴代7位の49秒96をマークして2位、アジアジュニア選手権で金メダルを獲得した。喜多方桐桜高3年時の14年に急成長。インターハイ福島県大会で51秒45と躍進を見せた。夏場には力を蓄え、秋には日本ジュニア選手権で51秒31、国体でも51秒35で共に2位に入った。城西大1年時の15年は日本インカレ400mで46秒97の自己新をマーク、日本ジュニア選手権を49秒97で制した。

●主要競技会成績

アジアジュニア選手権	2016	400mH: 1位
日本選手権リレー	2015	4×400mR: 7位(2走)
日本ジュニア選手権	2015	400mH: 1位
日本ジュニア選手権	2014	400mH: 2位



400mH
4×400mR

Tatsuhiro YAMAMOTO

山本 竜大

日本大学(千葉)

(古和釜中・千葉→成田高・千葉)

①23 Apr. 1997 ②177cm・70kg ③Chiba
Pref. ④Nihon Univ. ⑤50.96 (2016) /
50.96

成田高2年時の14年インターハイで400mH 7位、2走を務めた4×400mRで優勝。日本ユース選手権400mHで2位に入った。3年時のインターハイでは51秒32の自己新で3位、国体で2位、日本ジュニア選手権で6位と、3つの全国大会で入賞。10月には400mで47秒48と自己記録を更新した。日大に進んだ今季は、春先から51秒台を連発して関東インカレ7位。6月の日本学生個人選手権では、50秒96の自己新で4位に入った。

●主要競技会成績

日本ジュニア選手権	2015	400mH: 6位
日本ユース選手権	2014	400mH: 2位
全国高校総体	2015	400mH: 3位 / 4×400mR: 4位(4走)
全国高校総体	2014	400mH: 7位 / 4×400mR: 1位(2走)



3000mSC

Taisei OGINO

荻野 太成

神奈川県大学(静岡)

(三島北中・静岡→加藤学園高・静岡)

1997 Nov. 07 174cm・56kg Shizuoka Pref. Kanagawa Univ. 8.44.39 (2016) / 8.44.39

今年5月のU20世界選手権選考レースを8分48秒26の自己新で制すと、関東インカレ2部で優勝。6月の日本選手権では、ジュニア歴代6位の8分44秒39と自己記録を伸ばして5位に入賞した。加藤学園高2年時から3000mSCを始め、同年のインターハイで7位。3年時の15年には、日本人トップの2位に入った。走力とスピードがあり、3年時には1500mでも3分50秒54でインターハイ10位、全国高校駅伝4区4位の実績を残した。

●主要競技会成績

日本選手権	2016	3000mSC	5位
全国高校総体	2015	3000mSC	2位
全国高校総体	2014	3000mSC	7位



10000mW

Masatora KAWANO

川野 将虎

御殿場南高校(静岡)

(須走中・静岡)

1998 Oct. 23 176cm・58kg Shizuoka Pref. Gotemba Minami H.S. 10kmW : 41.04. (2016) / 10kmW : 41.04.

御殿場南高で競歩を始め、2年時の15年にはアジアユース選手権で代表入り、インターハイ5000mWで2位。国体では高校歴代7位、高2歴代2位の20分12秒22をマークして2位に入った。16年は元日競歩、4月の全日本競歩輪島大会で優勝。日本代表として出場した5月の世界競歩チーム選手権では、U20・10kmWで8位に入賞して、団体の銅メダル獲得に貢献した。20kmWでも、高校歴代3位の1時間25分37秒の自己記録を持つ。

●主要競技会成績

世界競歩チーム選手権	2016	10kmW	8位
アジアユース選手権	2015	10000mW	DNF
全国高校総体	2015	5000mW	2位



10000mW

Ryutaro YAMAMOTO

山本龍太郎

富山商業高校(富山)

(小杉中・富山)

1998 Sep. 17 169cm・57kg Toyama Pref. Toyama Commercial H.S. 10kmW : 41.22. (2016) / 10kmW : 41.22.

富山高1年時の14年9月、5000mWで当時高1歴代5位の21分50秒02をマーク。2年時にはインターハイ3位。富山県高校新人で20分24秒08と高2最高を塗り替えると、国体ではさらに更新する20分08秒50で優勝した。16年は10kmWで元日競歩3位、日本選手権ジュニア選抜競歩3位、全日本競歩輪島大会2位。世界競歩チーム選手権で9位と健闘した。走力も高く、2年時には全国高校駅伝6区15位。双子の兄弟も競歩選手。

●主要競技会成績

世界競歩チーム選手権	2016	10kmW	9位
全国高校総体	2015	5000mW	3位



High Jump
走高跳

Yuji HIRAMATSU

平松 祐司

筑波大学(京都)

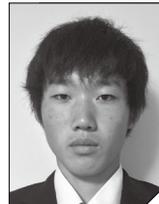
(男山山中・京都→西城陽高・京都)

1997 Jan. 11 184cm・64kg Kyoto Pref. Univ. of Tsukuba 5.28 (2015) / 2.22

西城陽高3年時の14年、インターハイを2m19、国体を2m20で制覇。卒業前の3月には、高校歴代3位タイの2m21をクリアした。筑波大に進んだ15年、関東インカレで当時日本歴代6位タイ、ジュニア歴代2位の2m28に成功。日本選手権で3位に入り、18歳で世界選手権代表に入り大舞台を経験、ユニバーシアードにも出場した。今季は関東インカレを2m22で制した。三段跳でも15m69の自己記録を保持している。

●主要競技会成績

世界選手権	2015	走高跳	予選B組16位
ユースオリンピック	2014	走高跳	2位
ユニバーシアード	2015	走高跳	予選15位
アジアユース大会	2013	走高跳	1位
日本選手権	2015	走高跳	3位
日本ジュニア選手権	2015	走高跳	2位 / 三段跳: 4位
日本ジュニア選手権	2014	三段跳	4位
日本ユース選手権	2013	走高跳	8位 / 三段跳: 1位
日本学生対校選手権	2015	走高跳	2位
全国高校総体	2014	走高跳	11位 / 三段跳: 4位
全国高校総体	2013	走高跳	4位
全国高校総体	2012	走高跳	6位



High Jump
走高跳

Keitaro FUJITA

藤田 溪太郎

立命館大学(大阪)

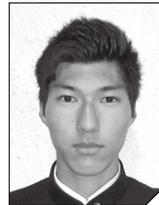
(豊中十三中・大阪→関西大学北陽高・大阪)

1997 Oct. 02 187cm・68kg Osaka Pref. Ritsumeikan Univ. 2.16 (2015) / 2.16

関大北陽高では1年から2m02を跳んだ。2年時の14年には9月に2m11と自己記録を伸ばし、日本ユース選手権を2m06で制した。3年時には、インターハイで2m16の自己新をクリアして優勝。国体も2m15で制し、日本ジュニア選手権でも2m14で5位に入った。今年は室内シーズンから好調で、立命大に入学後、6月のアジアジュニア選手権で2m16の自己タイをクリアして金メダルを獲得した。日本選手権は2m15で8位に初入賞。

●主要競技会成績

アジアジュニア選手権	2016	走高跳	1位
日本選手権	2016	走高跳	8位
日本ジュニア選手権	2015	走高跳	5位
日本ユース選手権	2014	走高跳	1位
全国高校総体	2015	走高跳	1位



Pole Vault
棒高跳

Masaki EJIMA

江島 雅紀

荻田高校(神奈川)

(錦台中・神奈川)

1999 Mar. 06 188cm・75kg Kanagawa Pref. Eda H.S. 5.42 (2016) / 5.42

今年5月のゴールデンランプリで、ジュニア歴代2位の5m42をクリア、高校記録を9年ぶりに塗り替えた。6月のインターハイ南関東大会でも5m35を跳び、17歳で初挑戦した日本選手権は5m00で13位。荻田高1年の14年に日本ユース選手権4位、その3週間後に5m20の高1最高をマーク。2年時には世界ユース選手権6位、インターハイ11位、国体2位。日本ユース選手権を制した翌週には5m36のユース最高、高2最高を樹立。

●主要競技会成績

世界ユース選手権	2015	棒高跳	6位
日本ユース選手権	2015	棒高跳	1位
日本ユース選手権	2014	棒高跳	4位



Pole Vault
棒高跳

Keisuke OKUBO

大久保 圭介

関西学院大学(香川)

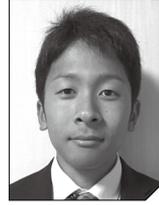
(大野原中・香川→観音寺第一高・香川)

1998 Mar. 01 178cm・66kg Kagawa Pref. Kwansai Gakuin Univ. 5.20 (2016) / 5.20

中学時代は全日中で8位。観音寺一高1年時の13年には、110mJHで国体に出場している。2年時の5月に初めて5m00に乗ると、インターハイは4m90で9位、日本ユース選手権8位、国体11位。3年時にはインターハイで8位、国体6位、日本ジュニア選手権5位と全国入賞を果たすと、10月に自己新の5m15をクリアした。関学大に進んだ今季、5月の関西インカレで自己記録を5cm更新する5m20で、ルーキーながら優勝を飾った。

●主要競技会成績

日本ジュニア選手権	2015	棒高跳	5位
日本ユース選手権	2014	棒高跳	8位
全国高校総体	2015	棒高跳	8位
全日本中学校選手権	2012	棒高跳	8位



Long Jump
走幅跳

Kazuma ADACHI

足達 一馬

関西学院大学(大阪)

(石切中・大阪→大阪桐蔭高・大阪)

2016 Oct. 16 162cm・60kg Osaka Pref. Kwansai Gakuin Univ. 7.76 2.0 (2016) / 7.76 2.0

大阪桐蔭高2年時の14年、8月に7m13に自己記録を伸ばし、初の全国大会となった10月の日本ユース選手権で8位入賞。3年時のインターハイでは高校歴代8位の7m74で優勝、国体でも5位に入った。高校卒業前の今年3月には、日本ジュニア室内で7m74の好ジャンプを見せ、2週間後の屋外の記録会で7m76と自己記録を更新した。関学大進学後は、関西インカレ2位、アジアジュニア選手権では7m73で銅メダルを手にした。

●主要競技会成績

アジアジュニア選手権	2016	走幅跳	3位
日本ユース選手権	2014	走幅跳	8位
全国高校総体	2015	走幅跳	1位



Long Jump
走幅跳
4×100mR
Yuki HASHIOKA
橋岡 優輝

八王子高校(東京)
〔岸中・埼玉〕

123 Jan. 1999 2183cm・73kg 3Tokyo
Pref. 4Hachioji S.H.S. 57.70 1.4 (2015)
/ 7.68 1.5

中学時代は四種競技で全日中3位。八王子高入学後、当初は多くの種目に取り組んでいたが、1年時の夏以降は走幅跳中心になった。2年時の15年にはインターハイ4位、国体で2位。日本ユース選手権では、高2歴代3位タイの7m70で頂点に立った。今季は6月に7m68。また、ゴールデングランプリにも出場して9位、日本選手権では高校生として13年ぶりの入賞となる8位。父は棒高跳、母は100mHと三段跳の元・日本記録保持者。

●主要競技会成績

日本選手権	2016	走幅跳：8位
日本ユース選手権	2015	4×100mR：3位(4走) / 走幅跳：1位
全国高校総体	2015	走幅跳：4位
全日本中学校選手権	2013	四種競技：3位



Triple Jump
三段跳
Mutsuki HARADA
原田 睦希

立命館大学(大阪)
〔三棧中・大阪→阿倍野高・大阪〕

104 Feb. 1997 2170cm・63kg 3Osaka
Pref. 4Ritsumeikan Univ. 516.16 1.2
(2016) / 16.16 1.2

阿倍野高2年の夏以降に三段跳で力をつけた。9月の近畿高校ユース選手権を14m80で制し、10月の日本ユース選手権で6位に入賞。3年時の14年インターハイでは、自身初の15m00で7位。国体では15m36の自己新で2位に躍進した。立命大1年時の15年、西日本学生選手権で15m41と自己記録を更新、日本ジュニア選手権8位。今季は6月の日本学生個人選手権で、ジュニア歴代7位の16m16のビッグジャンプを見せて2位に入った。

●主要競技会成績

日本ジュニア選手権	2015	三段跳：8位
日本ユース選手権	2013	三段跳：6位
全国高校総体	2014	三段跳：7位



Shot Put
砲丸投
Discus Throw
円盤投
Shinichi YUKINAGA
幸長 慎一

四国大学(徳島)
〔姫路東中・兵庫→生光学園高・徳島〕

110 Apr. 1997 2183cm・96kg 3Tokushima Pref. 4Shikoku Univ. 5Shot6.000kg:18.41 (2016) / 18.41:
Discus:1.750kg:56.65 (2016) / 1.750kg:56.65

生光学園高2年時の14年に日本ユース選手権で砲丸投、円盤投の2冠、国体の円盤投で優勝。3年時には、高校生ながら日本選手権で2種目入賞の快挙。インターハイでは砲丸投で18m21の高校記録を樹立し、円盤投との2冠を獲得した。高校卒業前の今年2月、円盤投で56m65の高校新。大学ではアジアジュニア選手権の砲丸投で金メダル、円盤投で銅メダル。日本選手権では、一般用の円盤投での自己記録となる54m15で5位に入った。

●主要競技会成績

アジアジュニア選手権	2016	砲丸投：1位 / 円盤投：3位
日本選手権	2016	円盤投：5位
日本選手権	2015	砲丸投：7位 / 円盤投：5位
日本ジュニア選手権	2015	円盤投：2位
日本ユース選手権	2014	砲丸投：1位 / 円盤投：1位
日本ユース選手権	2013	砲丸投：5位 / 円盤投：1位
全国高校総体	2015	砲丸投：1位 / 円盤投：1位
全国高校総体	2014	砲丸投：4位 / 円盤投：5位
全国高校総体	2013	円盤投：3位
全日本中学校選手権	2012	砲丸投：2位



Discus Throw
円盤投
Yume ANDO
安藤 夢

東海大学(東京)
〔東溝布中・東京→東京高・東京〕

103 Feb. 1997 2180cm・93kg 3Tokyo
Pref. 4Tokai Univ. 51.750kg:58.80 (2016)
/ 58.80

今年5月、円盤投で54m92のジュニア記録を樹立。関東インカレを制し、アジアジュニア選手権で銀メダルを獲得した。東京高2年時の13年にインターハイ、国体、日本ユース選手権で砲丸投、円盤投の2種目で入賞。3年時にはインターハイで砲丸投6位、円盤投2位、ユース五輪の円盤投で4位に入った。日本ジュニア選手権、国体は共に円盤投で3位。東海大1年の15年には円盤投で日本インカレ2位、日本ジュニア選手権で優勝。

●主要競技会成績

ユースオリンピック	2014	円盤投：4位
アジアジュニア選手権	2016	円盤投：2位
アジアユース大会	2013	砲丸投：2位 / 円盤投：2位
日本ジュニア選手権	2015	円盤投：1位
日本ジュニア選手権	2014	円盤投：3位
日本ユース選手権	2013	砲丸投：2位 / 円盤投：4位
日本ユース選手権	2012	砲丸投：7位
日本学生好校選手権	2015	円盤投：2位
全国高校総体	2014	砲丸投：6位 / 円盤投：2位
全国高校総体	2013	砲丸投：5位 / 円盤投：4位
全日本中学校選手権	2011	砲丸投：4位



Javelin Throw
やり投
Junya SADO
佐道 隼矢

東海大学(富山)
〔入善中・富山→入善高・富山〕

117 Jan. 1997 2175cm・90kg 3Toyama
Pref. 4Tokai Univ. 577.97 (2016) / 77.97
(Top6)

今年5月の関東インカレを制し、6月のアジアジュニア選手権ではジュニア歴代2位の77m97で金メダルを獲得した。入善高1年時の12年、日本ユース選手権8位。2年時の国体で66m55と自己記録を伸ばして2位、日本ユース選手権4位に入った。3年時はケガで苦しんだが、東海大進学後は安定した記録を残している。1年の8月に初の70m超え、10月に73m50をマークした。

●主要競技会成績

アジアジュニア選手権	2016	やり投：1位
日本ユース選手権	2013	やり投：4位
日本ユース選手権	2012	やり投：8位



Javelin Throw
やり投
Hiroshi IKEGAWA
池川 博史

滝川第二高校(兵庫)
〔鈴蘭台中・兵庫〕

102 May. 1998 2193cm・106kg 3Hyogo
Pref. 4Takigawa Daini H.S. 570.03 (2016)
/ 70.03

滝川二高に入学後は2種目を中心に取り組み、1年時の14年日本ユース選手権では砲丸投4位、やり投では高1歴代2位の63m23で2位。国体で少年B砲丸投を制した。2年時にはアジアユース選手権で砲丸投3位、やり投6位。インターハイで砲丸投8位、日本ユース選手権では砲丸投4位、やり投で6位に入賞した。今季はやり投で好記録を連発、6月に70m03と初めて70mを超えた。父は砲丸投で日本選手権の優勝経験がある。

●主要競技会成績

アジアユース選手権	2015	砲丸投：3位 / やり投：6位
日本ユース選手権	2015	砲丸投：3位 / やり投：6位
日本ユース選手権	2014	砲丸投：4位 / やり投：2位
全国高校総体	2015	砲丸投：8位
全日本中学校選手権	2013	砲丸投：2位
全日本中学校選手権	2012	砲丸投：4位



400m
400mH

Haruko ISHIZUKA

石塚 晴子

東大阪大学(大阪)

[新池中・大阪→東大阪大学敬愛高・大阪]

①02 Jun. 1997 ②161cm・53kg ③Osaka Pref.
④Higashiosaka College ⑤400m:53.22 (2016) /
53.22; 400mH: 56.75 (2016) / 56.75

東大阪敬愛高3年時の15年、インターハイで400m、400mH、4×400mRの3冠。400mはジュニア歴代5位の53秒30、400mHでは57秒09で23年ぶりに高校記録を塗り替えた。世界選手権は出場機会がなかったが、高校生ながらリレーの日本代表に選出された。今季はゴールデングラブリーの400mHで56秒75のジュニア新。アジアジュニア選手権は400mで銅メダル、400mHで金メダル。100mから800m、400mHまでこなす。

●主要競技会成績

世界選手権	2015	4×400mR: 補欠
アジアジュニア選手権	2016	400m: 3位 / 4×400mR: 決勝DNS (1走) / 400mH: 1位
日本選手権	2016	400m: 4位 / 400mH: 3位
日本選手権	2015	400m: 3位 / 400mH: 7位
日本選手権リレー	2015	4×400mR: 1位 (3走)
日本選手権	2014	400m: 8位
日本選手権リレー	2014	4×100mR: 7位 (3走) / 4×400mR: 1位 (2走)
日本ジュニア選手権	2015	200m: 7位 / 400m: 2位
日本ユース選手権	2014	400m: 1位 / 4×100mR: 3位 (4走) / 400mH: 2位
全国高校総体	2015	400m: 1位 / 800m: 2位 / 4×400mR: 1位 (4走) / 400mH: 1位
全国高校総体	2014	400m: 3位 / 800m: 2位 / 4×400mR: 1位 (2走) / 400mH: 2位
全国高校総体	2013	4×400mR: 3位 (2走)



3000m

Wakana KABASAWA

樺沢和佳奈

常磐高校(群馬)

[富士見中・群馬]

①24 Mar. 1999 ②163cm・45kg ③Gunma Pref.
④Tokiwa H.S. ⑤9.06.47 (2016) / 9.06.47 (Top6)

中学3年時の13年国体少年B1500mで、当時中学歴代5位の4分21秒18で優勝。常磐高1年時には1500mで日本選手権11位、インターハイ8位、国体少年Bで連覇を果たした。2年時には世界ユース選手権1500mで12位、インターハイ3000m13位。今季は5月に1500mで4分17秒68、6月に3000mで9分06秒47の自己新。日本選手権は4分21秒52で予選を突破し、決勝で9位。世界クロスカントリー選手権の出場経験もある。

●主要競技会成績

世界ユース選手権	2015	1500m: 12位
全国高校総体	2014	1500m: 8位
全日本中学校選手権	2013	1500m: 3位
全日本中学校選手権	2012	1500m: 6位



3000m

Nozomi TANAKA

田中 希実

西脇工業高校(兵庫)

[小野南中・兵庫]

①04 Sep. 1999 ②153cm・41kg ③Hyogo Pref.
④Nishiwaki Kougyu H.S. ⑤9.08.15 (2016) / 9.08.15

中学2年時の13年、全日中1500mで4位。3年時の全日中は800m 6位、1500m優勝。国体少年B1500mで4位、ジュニア五輪3000mで3位に入った。西脇工高に進んだ15年、1500mでアジアユース選手権2位、インターハイ5位、国体少年B優勝。9月には4分15秒55の高1最高をマークした。今季は6月に3000mで9分08秒15の自己新、日本選手権1500mで高校歴代3位の4分15秒43で2位と健闘した。母も元マラソン選手。

●主要競技会成績

アジアユース選手権	2015	1500m: 2位
日本選手権	2016	1500m: 2位
全国高校総体	2015	1500m: 5位
全日本中学校選手権	2014	800m: 6位 / 1500m: 1位
全日本中学校選手権	2013	1500m: 4位



5000m

Rika KASEDA

加世田梨花

成田高校(千葉)

[国府台女学院中・千葉]

①02 Mar. 1999 ②147cm・37kg ③Chiba Pref.
④Narita H.S. ⑤15.44.58 (2016) / 15.44.58

成田高1年時の14年、3000m 9分29秒52と力をつけ、8月の全国高校選抜5000mでは16分20秒97で9位と好走。2年時には、インターハイ3000mで9分15秒64と自己記録を伸ばして5位、国体でも5位に入った。今年1月の都道府県対抗駅伝では2区で区間賞、2月にはアジアクロスカントリー選手権に出場。4月のU20世界選手権選考レース5000mは15分44秒58で優勝、6月に3000mで9分13秒07の自己新をマークした。

●主要競技会成績

全国高校総体	2015	3000m: 5位
--------	------	-----------



5000m

Mikuni YADA

矢田みくに

ルーテル学院高校(熊本)

[力合中・熊本]

①29 Oct. 1999 ②158cm・40kg ③Kumamoto Pref.
④Luther S.H.S ⑤15.45.04 (2016) / 15.45.04

今年1月の都道府県対抗駅伝で2区5位、2月の日本選手権クロスカントリーのジュニア6kmで3位と健闘を見せると、2年生になった4月以降はトラックで力を発揮。4月の初戦で3000m 9分09秒93、U20世界選手権選考レース5000mで15分45秒04、6月のインターハイ南九州大会で9分08秒05と自己記録を連発した。中学3年時には都道府県対抗駅伝8区9位、高校1年時にはインターハイ3000mと国体少年B1500mに出場。



100mH

Yuri OKUBO

大久保有梨

中央大学(福井)

[鯖江中・福井→敦賀高・福井]

①04 Mar. 1997 ②163cm・53kg ③Fukui Pref.
④Chuo Univ. ⑤13.51 1.9 (2016) / 13.51 1.9

敦賀高2年時の13年に急成長、国体で100mH 7位に入賞。日本ユース選手権では、14秒08の自己新で5位に入った。3年時にはインターハイ5位、日本ジュニア選手権の予選で13秒69の自己新、決勝で3位。国体では400mHで5位に入賞した。中大2年生になった今季、関東インターハイ100mHで4位、日本学生個人選手権では13秒51の自己新をマークして4位、日本選手権で準決勝に進んだ。4月には400mHで61秒12の自己新。

●主要競技会成績

日本ジュニア選手権	2014	100mH: 3位
日本ユース選手権	2013	100mH: 5位
全国高校総体	2014	100mH: 5位



100mH

Yumi TANAKA

田中 佑美

関西大学第一高校(大阪)

[関大一中・大阪]

①15 Dec. 1998 ②172cm・55kg ③Osaka Pref.
④Kansai Univ. Dai-ichi S.H.S. ⑤13.58 0.0 (2016) / 13.58 0.0

関大高一1年時の14年、日本ユース選手権の準決勝で当時高1歴代6位の13秒92をマーク、決勝で2位に入った。2年時には5月に当時高2歴代9位の13秒74、世界ユース選手権で準決勝に進出。インターハイを制し、日本ジュニア選手権で3位に入った。今季は6月のアジアジュニア選手権で決勝進出。日本選手権では準決勝で高校歴代10位の13秒58の自己新、決勝は惜しくも追い風2.1mの参考記録ながら13秒45で6位に入賞した。

●主要競技会成績

世界ユース選手権	2015	100mYH: 準決勝2組5着
アジアジュニア選手権	2016	100mH: 決勝DQ
日本選手権	2016	100mH: 6位
日本ジュニア選手権	2015	100mH: 3位
日本ユース選手権	2014	100mH: 2位
全国高校総体	2015	100mH: 1位



400mH

Mizuki MURAKAMI

村上 瑞季

東大阪大学敬愛高校(大阪)

[東雲中・大阪]

①19 May. 1998 ②159cm・50kg ③Osaka Pref.
④Higashiosaka College Keiai H.S. ⑤58.87 (2015) / 58.92

14年に東大阪敬愛高に入学後、秋からトップレベルに台頭。日本ユース選手権で100mH 3位、400mHで7位に入賞した。2年時には、400mHで世界ユース選手権の準決勝に進出、インターハイでは58秒95で2位に入った。秋には国体で5位、日本ユース選手権でユース歴代8位の58秒87と自己記録を伸ばして頂点に立った。今季はアジアジュニア選手権で5位、日本選手権にも出場した。100mから400m、ハードル種目まで幅広く活躍。

●主要競技会成績

世界ユース選手権	2015	4×400mR: 6位 (3走) / 400mH: 準決勝1組6着
アジアジュニア選手権	2016	4×400mR: 決勝DNS (4走) / 400mH: 5位
日本選手権リレー	2015	4×400mR: 1位 (2走)
日本ユース選手権	2015	4×100mR: 2位 (3走) / 400mH: 1位
日本ユース選手権	2014	100mH: 3位 / 400mH: 7位
全国高校総体	2015	4×400mR: 1位 (3走) / 400mH: 2位



3000mSC

Chika MUKAI

向井 智香

名城大学(愛知)

[御幸山中・愛知→至学館高・愛知]

126 Feb. 1998 154cm・41kg Aichi Pref. Meijo Univ. 10.00.40 (2016) / 10.00.40

今年5月に3000mSCでジュニア歴代2位の10分00秒40をマーク。アジアジュニア選手権で金メダル、日本選手権で5位に入った。U20世界選手権では3000mSCに出場するが、至学館高では主に中距離で活躍。3年時の15年に世界ユース選手権1500mで6位。インターハイは800m 2分06秒29、1500mで当時ユース歴代6位の4分16秒76で2冠を獲得した。400mや3000mの力もあるほか、1月の都道府県対抗駅伝では7区2位。

●主要競技会成績

世界ユース選手権	2015	1500m: 6位
アジアジュニア選手権	2016	3000mSC: 1位
日本選手権	2016	3000mSC: 5位
日本選手権リレー	2015	4×400mR: 8位(4走)
日本ジュニア選手権	2015	800m: 2位
日本ユース選手権	2014	800m: 5位
全国高校総体	2015	800m: 1位 / 1500m: 1位 / 4×400mR: 4位(4走)
全国高校総体	2014	800m: 3位 / 4×400mR: 8位(4走)



3000mSC

Yuki SHIBATA

柴田 佑希

北九州市立高校(福岡)

[曾根中・福岡]

19 Jan. 1999 158cm・42kg Fukuoka Pref. Kitakyushu City H.S. 10.08.92 (2016) / 10.08.92

北九州市立高1年時の14年、全国高校選抜2000mSCで6位。2年時には世界ユース選手権2000mSCで7位、インターハイ3000mで決勝に進んで15位、全国高校選抜5000mでは16分19秒75の自己新で5位と、各種目で結果を残した。今季はU20世界選手権選考レース3000mSCで、10分08秒92の高校最高で2位。日本選手権では自身の記録に0.02秒と迫る10分08秒94をマーク、高校生で10年ぶりの入賞となる8位に入った。

●主要競技会成績

世界ユース選手権	2015	2000mSC: 7位
日本選手権	2016	3000mSC: 8位



10000mW

Yukiho MIZOGUCHI

溝口友己歩

早稲田大学(長野)

[王滝中・長野→長野東高・長野]

06 Dec. 1997 163cm・48kg Nagano Pref. Waseda Univ. 47.03.23 (2015) / 47.24.87

中学で競歩を始め、数々のタイトルを獲得。3年時の日本ユース選手権3000mWでは、当時中学歴代5位の14分53秒08で優勝。長野東高では3年時の15年にインターハイ5000mWを制し、1年時の7位、2年時の3位に続き、同種目初の3年連続入賞を成し遂げた。国体では高校生ながら成年10000mWに出場し、47分03秒23の自己新で7位。早大に進んだ今季は、世界競歩チーム選手権のU20・10kmWで10位、関東インカレ優勝。

●主要競技会成績

世界競歩チーム選手権	2016	10kmW: 10位
全国高校総体	2015	5000mW: 1位
全国高校総体	2014	5000mW: 3位
全国高校総体	2013	5000mW: 7位



Shot Put
砲丸投
Discus Throw
円盤投

Nanaka KORI

郡 菜々佳

九州共立大学(大阪)

[淀川中・大阪→東大阪大学敬愛高・大阪]

02 May. 1997 172cm・75kg Osaka Pref. Kyushu Kyoritsu Univ. Shot: 16.19 (2016) / 16.19; Discus: 52.14 (2016) / 52.14

九州共立大に進んだ今年4月、兵庫リレカーニバル円盤投で、ジュニア歴代2位の52m14をマーク。5月の九州インカレ砲丸投では、16m19と18年ぶりにジュニア記録を更新した。アジアジュニア選手権は砲丸投で金メダル、円盤投で銀メダル。東大阪大敬愛高3年時の15年、日本選手権で砲丸投3位、円盤投4位。インターハイと日本ジュニア選手権では、砲丸投と円盤投の2冠。今年3月31日には、円盤投で51m25の高校記録を樹立した。

●主要競技会成績

アジアジュニア選手権	2016	砲丸投: 1位 / 円盤投: 2位
日本選手権	2016	砲丸投: 2位
日本選手権	2015	砲丸投: 3位 / 円盤投: 4位
日本選手権	2014	砲丸投: 8位
日本ジュニア選手権	2015	砲丸投: 1位 / 円盤投: 1位
日本ユース選手権	2014	砲丸投: 1位 / 円盤投: 1位
日本ユース選手権	2013	砲丸投: 4位
全国高校総体	2015	砲丸投: 1位 / 円盤投: 1位
全国高校総体	2014	砲丸投: 2位
全日本中学校選手権	2012	砲丸投: 4位 / 四種競技: 4位



Javelin Throw
やり投

Haruka KITAGUCHI

北口 榛花

日本大学(北海道)

[道教大附属旭川中・北海道→旭川東高・北海道]

16 Mar. 1998 179cm・86kg Hokkaido Pref. Nihon Univ. 61.38 (2016) / 61.38 (Top1)

今年5月のゴールデングランプリで61m38のジュニア記録を樹立、日本選手権3位に入った。旭川東高1年時の13年、当時高1歴代2位タイの49m31をマーク。2年時にはインターハイ、国体、日本ユース選手権を制して高校3冠。国体では高2歴代4位の53m15を投げた。3年時には日本選手権5位、世界ユース選手権で金メダルの快挙。インターハイ、国体、日本ジュニア選手権を制し、ジュニア選手権で58m90の高校記録を作った。

●主要競技会成績

世界ユース選手権	2015	やり投: 1位
日本選手権	2016	やり投: 3位
日本選手権	2015	やり投: 5位
日本ジュニア選手権	2015	やり投: 1位
日本ユース選手権	2014	砲丸投: 4位 / やり投: 1位
日本ユース選手権	2013	やり投: 3位
全国高校総体	2015	砲丸投: 6位 / やり投: 1位
全国高校総体	2014	やり投: 1位



Javelin Throw
やり投

Mikako YAMASHITA

山下実花子

九州共立大学(京都)

[豊里中・京都→京都共栄学園高・京都]

03 May. 1997 168cm・73kg Kyoto Pref. Kyushu Kyoritsu Univ. 58.59 (2015) / 53.49

小・中学校では走幅跳が専門で、小学校時代に全国入賞している。京都共栄高で始めたやり投で開花。2年時の14年にはインターハイ4位、日本ユース選手権3位に入賞した。3年時の7月には、58m59と当時のジュニア歴代3位、高校新記録をマーク。インターハイ、国体、日本ジュニア選手権で2位に入った。九州共立大に進んだ今季は、アジアジュニア選手権で4位。日本学生個人選手権では、53m49のシーズンベストで4位に入った。

●主要競技会成績

アジアジュニア選手権	2016	やり投: 4位
日本ジュニア選手権	2015	やり投: 2位
日本ユース選手権	2014	やり投: 3位
全国高校総体	2015	やり投: 2位
全国高校総体	2014	やり投: 4位